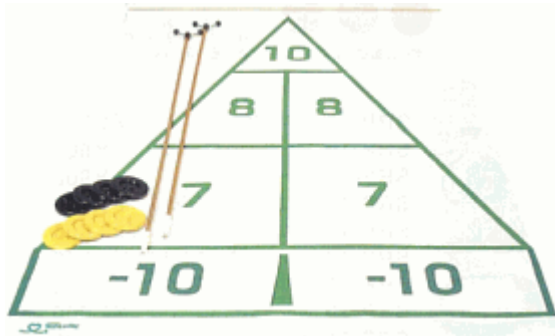


《シャフルボード》

・細長いコートで、キューによって円盤(ディスク)をシュートし合い、得点を競うゲームです。

写真



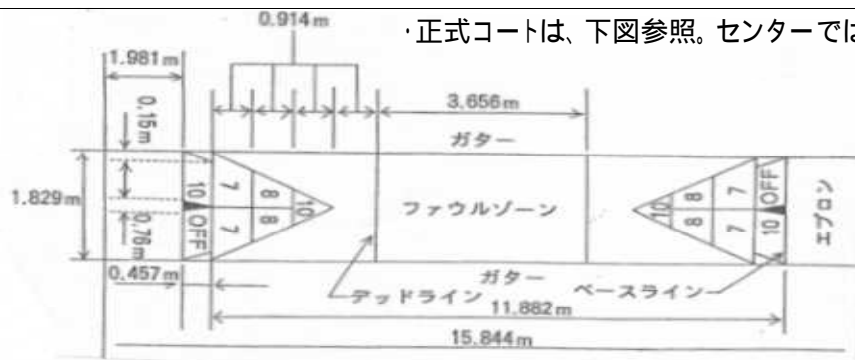
起源

・15世紀頃英国で盛んに行われた硬貨を使った盤ゲーム「ショーブグロート」「スライドグロート」
 ・1870年に英国～オーストラリア間の定期船の甲板スポーツとなり、1930年頃米国でルールが標準化
 ・米国のRボール夫妻が船旅で覚えたゲームをフロリダ州のホテルで公開し、全世界に広まった。

人数

・1対1、2対2が基本だが、人数が多いときは4人対4人の簡易ゲームもできる。

場所



・正式コートは、下図参照。センターでは専用カーペット使用。

進め方

・先攻、後攻をジャンケンで決め、先攻(黄)は10OFFの右側、後攻(黒)は左側にディスクを4枚並べる。(セパレーショントライアングルでスタートエリアを区分している。)
 ・先攻が1枚目をシュートし、次に後攻が1枚目をシュートする。これを交互に繰り返し、8枚シュートしたら得点をボードに記入し、1フレームが終了。
 ・第2フレームは、先攻後攻が逆になり、黒が10OFFの右側、黄が左側にディスクを4枚並べ、同じように交互にシュートする。これを規定のフレームまで繰り返す。

勝敗の決め方

・スコアリングダイアグラムに入っているディスクが得点となる。
 ・少しでも線に触れているとノーカウント。
 ・キッチン(10OFF)に入っているディスクは-10点。
 ・フレーム制 8, 12, 16のいずれかのフレームを決めて、それぞれの終了時点の得点で決める。
 ・ポイント制 50, 75, 100点のいずれかの点を決めて、先取した方が勝ち。

その他

・シャフルという言葉は、ダンスのすり足とか、トランプを切るという意味がある。
 ・ディスクとキューの先は接触させた状態でシュートをする。(シュート時にぶつけた音を立てない。)
 ・ディスクを移動させるときは、キューの手で持つところを使用する。
 ・シュートして、デッドラインに到達しなかったディスクは、その都度撤収する。(再プレイはできない。)